

月刊仙台三高演劇部

1月の活動内容

- ・新入生歓迎公演準備
- ・合同公演の準備

◆おはようございます。仙台三高演劇部です。今月から何回かにわけて演劇の魅力について語っていこうと思います。長々と書いてしまいましたが最後までどうぞお付き合いください。

◆私が考える演劇の魅力1 演技の奥深さ

幼いころごっこ遊びに夢中だった方もいるのではないのでしょうか？私もそうでした。幼稚園に通っていた頃は毎日のようにいろんなものになりきって遊んでいた記憶があります。あの頃は「なりきる」ということがこんなにも奥深いだなんて考えたこともありませんでした。何かの本で読んだことがあります。演技とは舞台の上で誰かとして生きることだ、と。今、「役者」として部活に励む中でその意味が少しずつですが分かってきた気がします。誰かとして生きるためには、その人の性格、誕生日、好きな食べ物、、、、などなどを想像すること、その台詞を言うとき何を考えているのかを考えることなどが大切なのかなと思いました。私たちも普段誰かと話しているとき何も考えずにひたすら口だけ動かす、ということはあまりないのではないのでしょうか？それは脚本に出てくる登場人物も同じなのでは、と思いました。しかしいざやってみようと思っても、当たり前のごとく感じますがこれがけっこう難しいのです、、、。

演技は、私にとってまだまだ分からないことだらけです。少しずつたくさんのことを吸収してもっと演技がうまくなりたいです。演技って本当に奥深い、、、！楽しい！

なんだか魅力紹介、というよりも私が演技について考えたことを長々と書き連ねただけになってしまいましたね、、、。来月号でも、私の独断と偏見ではありますが演劇の魅力(?)を語りたいと思います！来月のトピックスは、、、！ずばり演出！！です！

おたのしみに！

この「月刊仙台三高演劇部」を通して、より多くの人に演劇の楽しさをお伝えできたらいいなと願っています。